

札幌市環境プラザ運営協議会 令和5年度第1回実施概要

- 1 日 時 令和5年8月2日(水) 18:30~20:00
- 2 会 場 札幌市環境プラザ
- 3 出席者
 - (1) 委 員 : 吉田委員、大沼委員、井川委員、崎川委員、飯岡委員、福田委員、五十嵐委員
 - (2) 札幌市 : 環境局環境政策課環境教育担当係長、環境政策課推進係 係員
 - (3) 事務局 : (公財) さっぽろ青少年女性活動協会 市民活動担当課長、市民参画課係長、主任職、一般職員2名

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ 札幌市環境局 環境都市推進部 環境政策課長 飯岡 慶崇 様
- (3) 運営協議会について
- (4) 委員自己紹介、近況報告
- (5) 議事
 - ・ 令和4年度事業報告および令和5年度事業計画の説明
 - ・ 意見交換
 - 講師派遣制度の課題と解決について
- (6) あいさつ 札幌エルプラザ公共4施設館長 五十嵐 健二
- (7) 閉会

5. 議事概要

- ・ **令和4年度事業報告および令和5年度の計画・進捗報告**
事務局から令和4年度の報告および令和5年度事業計画、中間報告を行った。
その他新型コロナウイルス感染症による休館状況、それに関連した利用者の減増についても紹介した。

- ・ 意見交換

札幌市環境教育リーダー派遣・環境保全アドバイザー派遣の課題と、改善に向けた意見交換

環境プラザで運用を続けてきた講師派遣制度「札幌市環境保全アドバイザー/環境教育リーダー制度」の課題解決に向けたご意見や改善点、事例を伺いたいと説明した。

また、参加人数について派遣する講師の人数を定めている事例を知っていれば教えていただきたい旨を説明した。

○意見 学校の実態に合わせて柔軟に対応していただきありがたい。派遣人数については、リーダーを増やすのではなく、主催者が事前に打合せをして動くことができれば問題ではないと思う。

札幌らしいコミュニティスクールの在り方ということで様々な学校の授業が先生だけで行われるのではなく、専門家の方に入っていただき、充実させていくという動きになっているためニーズが高まっていくと思う。

○意見 こういった制度の目的は、知識や技術をインストールすることだと思う。繰り返し行き続けなければいけないのは本来の制度の趣旨ではないので、派遣した後、どうなったのかを見るのが必要だと感じた。

○意見（前の意見を受けて）環境教育リーダー派遣制度の目的が使う方に伝わるようにすると良いと思う。

○意見 学校の先生がどれだけ環境に興味があって子どもたちに伝えたいかが重要となる。前年度にやると次年度もという話はたくさんあるが、学校に偏りが出る。

○意見 学校とそれ以外の団体の利用の割合によってアプローチの仕方が変わると感じた。

小学校は「6年間で育てたい姿」を最初に組むため、リピーターのニーズがある。

※補足 小学校、中学校を含め、4割、幼稚園、保育園が多く、3割程度である。その他、児童会館や児童デイサービス、町内会の集まり、大人の自然観察会等がある。

○意見 個別対応だと大変なので、環境プログラムを作成したい団体に対し、プログラムづくりを行う企画を主催することで、まとめて実現を後押しするのはどうか。

○意見 先生や保育士が制度を活用した活動から知識や経験がインストールされ、自分で実施するようになるのは余裕がなく難しいため、同じ講師に継続してきてほしいというニーズは高いと考えられる。需要の側と供給の側で齟齬がある。

リーダーの数を増やししながら需要の増加に対応していく仕組みをつくったらいいのではないか。

○意見（前の意見を受けて）謝礼はとても大事だが、消耗品などの費用さえ用意してくれるのであればやるという人が結構いる。そういう方々が個別に学校とつながっていき、活動を後方支援するという制度があれば動く人はたくさん出てくると思うし、それが自走の一つの形なのではと思う。

○意見 謝礼ばかりではなく、やりがいを持って活動されている方も多くいらっしゃる。子どもを相手のため、一定の能力やリスク管理も不可欠だが、自発的な活動が広がっていけばいい。今回委員の皆様方からいただいた意見をもとに一緒に考えたいと思う。

以 上